



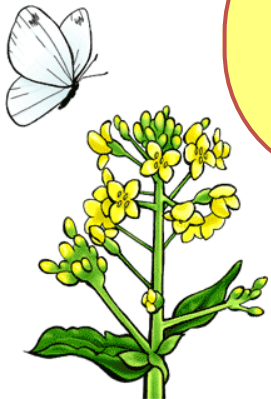
発行  
認知症カフェ実行委員会

認知症カフェを始めています。お待ちしております！

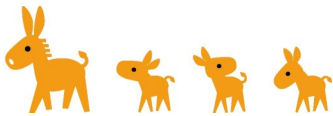
認知症カフェとは？  
認知症の人と家族、地域住民等  
誰もが集い、交流できる場です。



開催回数・場所は？  
開催回数：毎月1回 第1金曜日  
開催場所：西一会館（祭日は翌週）



どんなことをするの？  
認知症の人や家族など誰でも自由に参加  
できる場（カフェ）で、手芸コーナー、ゲームコー  
ナー、相談コーナーを開催します。参加費200円



認知症カフェの特徴

- 認知症の人とその家族が安心して過ごせる場
- 認知症の人とその家族がいつでも気楽に相談できる場
- 認知症の人とその家族が自分たちの思いを吐き出せる場
- 本人と家族の暮らしのリズム、関係性を崩さずに利用できる場
- 認知症の人と家族の思いや希望が社会に発信される場
- 一般住民が認知症の人やその家族と出会う場
- 専門職が本人や家族と平面で出会い、本人家族の別の側面を発見する場

手芸コーナー

(一) 臨床美術コーナー  
臨床美術士の半田育子氏の指導のもと、季節の果物等を机の中央に置き、絵具を使って挑戦します。

(二) 手芸コーナー  
講師はカフェ実行委員の堀内悦子氏。ピエロのブローチ作り等、題材を選んで挑戦します。

お遊びコーナー

(三) 麻雀コーナー  
麻雀を良く知っている人が参加しているとき、このコーナーが開設されます。

(四) 認知症予防ビー玉コーナー  
穴の空いた板にビー玉をパターンに合わせてセツトする。ビー玉をパターンから一つ取って、縦または横に一つ飛びで置き、飛び越されたビー玉は箱に戻す。手順が悪くと取れなくなったビー玉が多く残る。一つだけ残して完了できれば成功だ。

(五) 数字盤コーナー  
遊びコーナーでは、1から100まで書かれた文字盤の上に、ランダムに保管している数字の駒を、何分かって並べられるか、挑戦します。

(六) 介護相談コーナー  
認知症の家族のことで、日頃の悩みや今後の介護の仕方について話し合います。

(七) 恒例の半田先生による作品講評。  
個性的な色使いと立体的な描写を先生から講評をいただきます。

半田先生は作品と一緒に作者をカメラに収め、はがきサイズでアルバムを作り、皆さんにお返ししています。

(八) 最後に懐メロ等を合唱して終了します。

会場までは草津駅東口から豆バスが出ています(十三時三十分発、十三時三十三分着)。なお往復利用の場合、帰りは半額になりますので運転手さんに申し出てください。

(半額利用券を発行してくれま)す  
どなたでもご自由に参加できますので、お気軽にお越しください。  
(参加費200円)



草津市立図書館

西一会館の住所

草津市草津町1446-1

電話 077-562-5448

